

あす初の愛知県大会

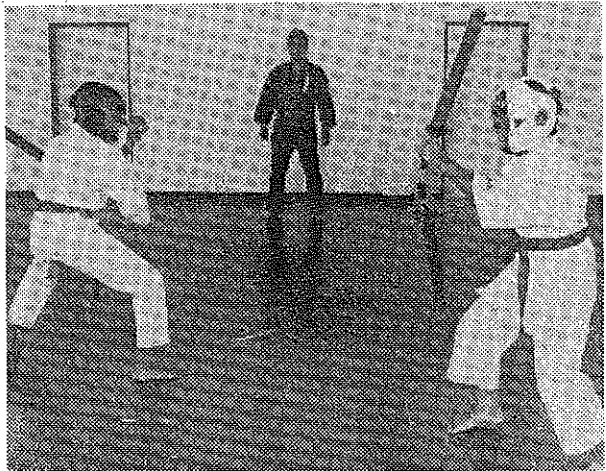
豊橋市 スポーツチャンバラ 武道館で

愛知県護身道連盟(多湖和信会長)主催の第一回護身道(スポーツチャンバラ)愛知県大会は、十七日午前十時半から豊橋市武道館(豊橋公園内)で開かれる。名古屋、豊橋、岡崎などから愛好者約五十人が参加、このニュー・スポーツの創始者である田辺哲人・全日本護身道連盟会長も来場し、大会に花を添える。

田辺全護身道連盟会長も来場

スポーツチャンバラは、田辺会長(イトーヨーカドー)に、県下初の護身道講(ごころ)から普及し、現在は全国に二百余の道場ができ、愛好者は三万人を超えている。豊橋には九月に、山中佳巳師範代(護身道五段、剣道三段)が同市神戸町四六、カルチャ

ンバラは、中芯(しん)の入った発泡スチロールを布、またはレザーで包んだ好みの武器(短剣、小太刀、長剣、槍)やり、なぎなた、杖、自由な構えで自由に打つ音懐かしいチャンバラ。体力づくりや女性のシェイプアップ、護身術として幅広い応用が期待でき、関東では小中学校の



自由な武器で自由に打ち合うスポーツチャンバラ

部活動にも取り入れられている。第一回愛知県大会は、県連や東三河本部のほか、岡崎女子短期大学の女子学生らも参加、全日本護身道連盟本部の田辺哲人会長らの演武が行われ、

れる。愛知県下では初の大会とあって、スポーツチャンバラ普及の意味からも一般の飛び入り参加を歓迎している。「打たれないで打つ」が基本の、このスポーツチャンバラは、武器が自由に選択でき、ルールや制約がほとんどないため、男女、年齢、経験のハンディを感じさせず、手軽に楽しめる。

山中師範代の長男・大輔君(豊橋市南陽中三年)は経験半年で初段となり、今日三日に群馬県渋川市で開かれた関東甲信越オープントーナメントの中学生個人の部で三位に入賞している。また十二月十五日に横浜市武道館で開かれる第十七回護身道(スポーツチャンバラ)世界大会には、東三河本部からも五人が出場することになっている。



子

宝飯郡一宮町の元教育長
・権田昇氏宅に同町上長
山字田川八二ノ二の短歌

土とらの生活記録410首を

夫人・きよさんの喜寿を記念した書道展(平成三年三月)に際しては「喜寿記念まつり